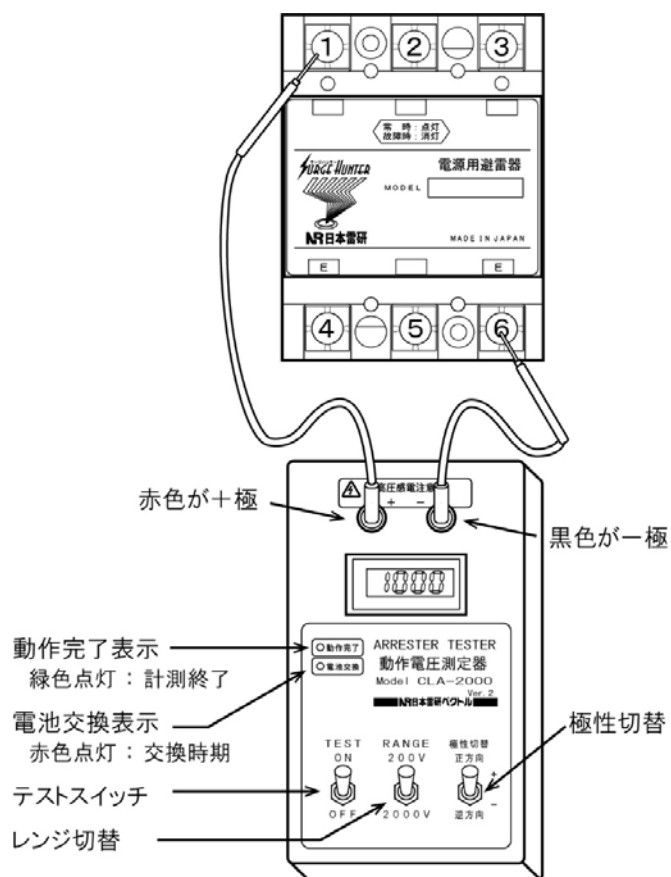


## ●端子配列と結線図



### チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。

1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。

TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

### ●点検前のご注意

- ① 電源ブレーカを開または開閉器(DS)を切り放してください
- ② 感電にご注意ください。  
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手触れないでください。
- ③ メータのサンプリング周期により読み取り誤差があります  
2～3回程度おこなってください。

### ●点検後・・・新品交換待ちになった場合

- ① 劣化と判断した場合であっても電源・信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。  
交換までの雷サージ対策となります。

## ●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えてください。
- ② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にしてください。(極性切替時使用します)
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続してください。
- ④ TESTスイッチをONに投入してください。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

### <直流電源用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極/-極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード (通常)
Z	E/L1	6/1	2000V	387 - 473V	SHORT
Z	L2/E	3/6	2000V	387 - 473V	SHORT
Z	L2/L1	3/1	200V	42 - 52V	SHORT
PL	L1/L2	1/3	200V	MONITOR ON	OFF
ALM	b contact	5	200V	SHORT	OPEN